

姫路で見る 2021年8月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。



今の時期、星空でいちばん目立つのは「夏の大三角」です。3つの星は、明るく見える順に、こと座の1等星ベガ、わし座の1等星アルタイル、はくちょう座の1等星デネブです。日本ではベガをおりひめ星、アルタイルをひこ星と呼んでいます。

「夏の大三角」の中を天の川が流れています。天の川を南へたどっていくと、さそり座にたどり着きます。さそり座は赤い1等星アンタレスとS字のカーブが目印です。さそり座の東隣りに見えるいて座は、半人半馬のケイロンが弓を引く姿で、さそりの心臓をねらっています。さそり座とわし座の間には、将棋のコマのような五角形が目印、へびつかい座が見えます。その上、天頂付近に輝くのはヘルクレス座です。ひざまづいた英雄の姿で、アルファベットのHの形が目印ですが、やや暗い星座です。

東の空には秋の星座が見え始めています。秋の夜空の目印は「秋の四辺形」で、空飛ぶ馬の星座、ペガサスの胴体部分でもあります。ペガサス座と云います。ペガサス座の北側には、星がアルファベットのWの形に並んだカシオペア座があります。「秋の四辺形」やカシオペア座からは北極星が探せます。

木星と土星が秋にかけて、観察の好期を迎えています。